



●NIAの予定 7月～8月●

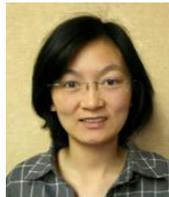
7月 4日(月)～9日(土)	七夕とスピーチ茶話会
7月17日(日)	習志野きらっとサンバ 16:30～20:30
7月27日(水)	日本語ボランティア研修会 第1回 13:00～16:00
8月20日(土)	学習者と日本語ボランティアの親睦会 16:00～20:00

●学習者紹介●

①名前 (学習曜日) ②出身国、都市 ③趣味 ④一言 ⑤担当日本語ボランティア



- ① 高柳 トミ (月)
- ② ドミニカ共和国、コンスタンサ
- ③ 乗馬、ジョギング
- ④ 日本語を勉強し、3人の子供の母親としていいお母さんになりたい。父が生まれた鹿児島に行ってみたい。
- ⑤ 金村 いづみ



- ① 熊 海晶 (水)
- ② 中国、南通
- ③ 日本ドラマ鑑賞、旅行、山登り
- ④ 日本は思ったよりきれいで静かな国でした。日本人たちはとても親切で優しいです。ラッシュアワーの電車の乗降りは驚きました。
- ⑤ 渡部 一之



●阿武松部屋見学● 6月18日(土)

習志野市と姉妹都市であるタスカルーサ市から青少年訪問団の高校生19名が、鷺沼5丁目にある阿武松部屋を見学しました。

玄関を入り髪付け油のいい香りが漂う中、奥に進むと土俵があり、力士たちが朝稽古を始めていました。独特な雰囲気の中で行われる激しいぶつかり稽古や、その周りでそこを踏む力士たちの様子を、みんな神妙な顔で見っていました。しばらくして相撲を実際に体験させてもらえることになり、男子4人が土俵へ上がりました。当日の朝はやる気満々だったと聞いていたのですが、稽古のすごさに臆してしまったのか、その時はかなり弱気な様子。観客席のコールに押される中、自分で対戦する力士を選んでもいいという条件でやっと取り



組へ。一人ずつ蹲踞の姿勢から教えてもらい対戦しましたが、力士は岩のようでなかなか動きません。子供みたいに投げ飛ばされ、持ち上げられてしまい、「信じられない」「とにかくすごい」と興奮した様子で感想を言ってくれました。

途中で質問コーナーもあり、「稽古は何回くらいするのか」「まわしの色が違うのはどうしてか」などの質問があがりました。ちなみに稽古の回数には限界まで。兄弟子があたりの時の押し加減で判断し、いいというまで何度も稽古が続くそうです。また、まわしの色の違いは位で決まるといっています。

最後に阿武松部屋の力士たちと記念写真を撮ったり話をしたり、日本の良い思い出になったことでしょう。(山)



●私わたしのふるさとふるさとと自慢じまん ②● ～中国ちゅうごく、大連だれん～

周しゅう 雪ゆき 学習者がくしゅうしゃ (水すい) 中国ちゅうごく 出身しゅっしん

大連だれんは遼東半島りやうとうはんとうの南端なんたんに位置ちし、
一年中いちねんじゅうず過すごしやすやすい所ところです。日本にほん
の北九州きたきゅうしゅう市し、真鶴まなづるし市しと友好都市ゆうこうとしに



なっています。中山ちゅうざん 広場ひろばにある近代建築群きんだいけんちくぐんは帝政
ロシア時代しだいに建築けんちくが始はじまり、当時とうじはニコラ広場ひろばと
呼よばれていました。日本統治時代にほんとうちだいは大広場おほひろばと改名か
され、それまでの建築物けんちくぶつを破壊はかいすることなく、和
洋折衷わやうせつちゅうな10棟とうの建物たてものが日本人設計士にほんじんせつけいしによって増築ぞうちく
されました。当時とうじ日本銀行にほんぎんこうや大連市役所だれんしやくしょなどが建
てられ、現在げんざいも交通銀行こうつうぎんこう・工商銀行こうしょうぎんこうなどとして使
われています。1945年ねん以降いこうは孫文そんぶんにちなんで、
中山広場ちゅうざんひろばと改名かされました。

大連だれんは漁業ぎょぎょうも盛さかんで、特とくに海老えびが有名ゆうめいです。ま
た、「りんごの郷さと」としても有名ゆうめいです。1898年ねん
に栽培さいばいが始はじまり、後のちに導入どうにゅうされた日本にほんのふじりん
ごは、味あじ・品質ひんしつともに大好評だいこうひやうです。

大連だれんではエンジュ(花はな)鑑賞会かんしょうかい、国際ファッション
祭さいなどが開催かいさいされ、海外かいがいから多くの旅行客りょこうきゃくが訪
れます。老虎灘海洋公園らうこたんかいやうこうえんや滨海路はまかいなどの観光地かんこうちも
あります。



だれんちゅうざん ひろば
大連中山 広場

●あすなろ華道教室かどうきょうしつ ● 5月30日(月)がつ にち げつ、6月1日(水)がつついたち すい

月曜日げつようびと水曜日すいようびの両日りやうじつで外国人学習者がいこくじんがくしゅうしゃ16名めい、日
本人ボランティアほんじん ボランティア4名めいが参加かし、楽たのしく華道かどうが行
われました。木下弘子きのしたひろこさんのご指導しどうのもと、今回こんかい
はヒマワリやモンステラなど外來がいらいの花材かさいを多おほく使
って、一足早ひとあしはやく夏なつを感じかんさせる活いきき活いきとした仕
上がりとなりまし。生け方いけかただけでなく、「花器かき」
や「剣山けんざん」など華道かどうに
欠かせない単語たんごも丁寧ていねい
に教おそわりました。



生け終わると全員ぜんいんで
教室きょうしつをぐるっと一周いっしゅう
ながら、それぞれの作
品ひんを鑑賞かんしょうし合い、みな
さん大満足だいまんぞく！最後さいごに家いえに持ち帰もるため花はなを「剣山けんざん」
から抜き取ぬってしまうのがもったいなくて、まだ
まだ眺ながめていたそうでした。(赤)

